



JR東労組 八王子

HACHIOJI



ホームページ

発行責任者  
執行委員長 針谷 歩

2022/9/9 №15

## 8月31日 青梅線青梅～奥多摩間の安全安定

### 輸送確保に向けた緊急申し入れ開催！！その③

#### 東労組

#### 会社

##### 【申し入れ内容】

2. 現在の危険木や近接木、近接竹の現状を明らかにし、乗務員申告等で運転保安上対処を要する情報を得た際は、直轄、外注を問わず速やかに対処すること。そのうえで、各系統の伐採区分の明確化を図り、臨機応変に伐採出来る仕組みを構築すること。

##### 【交渉での主な議論】

・工務職場の声は乗務員からの緊急呼び出しによって業務ができなくなると出されている。これをなんとかなくしてあげたい。台帳で管理把握していると言っても現実とは違う部分労使で共通認識を図りたい。考えはあるのか？

・設備21では伐採は基本外注。現状の伐採は直轄も行っている。現場は頑張っている。でも区分からいうと本来あるべき姿ではない。本来業務以外で対応しているため苦慮しているのが現実。

・疲弊せずに取り組める環境を作っていかななくてはならない認識も一致する。経営状況があるからしかたないんだという認識か？

・環境しくみを改善していく考えはあるのか？認識が一致している。

・除草のように把握し、各系統に手伝ってもらうなど汗を流している現場から意見が出ているが。いろいろな方法はあるが、各系統含めて改善するしくみを考えていくべきだ。

##### 【回答】

2. 近接木台帳により、各担当技術センターで沿線の支障樹木を把握・管理している。また、乗務員申告等があった際は、関係個所と情報を共有し、担当技術センターおよび即応可能な技術センターが対応している。

##### 【交渉での主な議論】

・区分を明確にすることと臨機応変にということと真逆である。現場にいかないとわからないこともあり、各系統で臨機応答に対応している。対応している以外で倒れるようなところもあるし、現実できていない。対応するお金もない。

・本来業務はあると思うが、安定輸送のために気づけば切っていたことは昔から柔軟に続いてきたこと。いまさらに草が多い状況になっているとも聞いている。現場が確かに疲弊しているのもわかるが、経営状態から考えて優先的にお金をかけていくのか区分している。

・しかたないことではない。

・同じ認識だと思うが、具体的に何をどうしていったらいいか知恵が出せるかというとなにか……………。

・安全なもの優先順位つけてやり、安全なものも会議に上がってくるようなしくみを改善する余地はあるのかなと思う。